

How to Build

リバースウッド

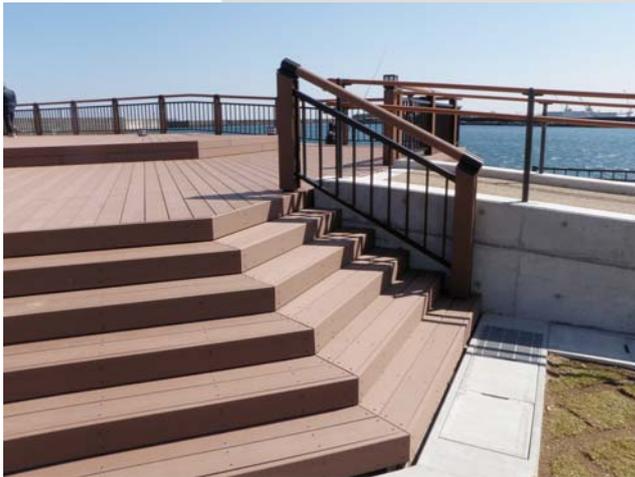
■リバースウッドデッキシステムのデッキモジュール

RWDSでは、デッキ材に145×30というサイズを標準としています。

これに横目地を5mmとり、150mm(145+5)をデッキモジュールとして設計を行っています。

同時に防護柵やベンチ、パーゴラといったデッキと取り合う構造物もデッキモジュールを適用し、下の写真のようにデッキの目地芯に柱がくるように配慮した商品設計を行っています。

これにより、現場での加工作業が大幅に軽減されるだけでなく、美観、構造面でも設計基準が担保されることとなります。



【写真上：階段のモジュール設計】

階段やスロープを設計する場合、階段最下面（G.L.）からデッキ天端（D.L.）までの高さが150mmの倍数となるように計画します。

階段幅（踏面）、蹴上も同様です。
推奨階段断面

W：300mm／450mm H：150mm

（蹴上勝ち／踏面勝ち共対応可能）



【写真下：支柱のモジュール設計】

防護柵、パーゴラ、ベンチ等の支柱とデッキが取り合う場合、支柱の芯々が150mmの倍数となるように計画します。

sai-BRANDのデッキモジュール対応製品は、あらかじめこの設計が施されています。

例えば防護柵の柱芯々は1,950mmとしており、デッキ13本ごとに支柱が立つこととなります。

これにより現場での加工作業に無駄がなく、美しい仕上がりが期待できます。